
アメちゃん世界を救う

梶子朱子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アメちゃん世界を救う

【Nコード】

N2436E

【作者名】

梶子朱子

【あらすじ】

アメをもらえば誰でも幸せな気分になる。そう、アメちゃんは世界を救うのだ！（と思う…）

「なあ、手え出してみい」

「えっ、なにになに？」

「ほい、アメちゃん」

手を出すと彼は、ポンと手の上にりんご味のアメをのつけた。

ニコニコと笑っている彼を見ると、ふと、不思議に思った。

「どないしたん？」

「あんたってさ、いつつもアメ持ってるよね」

「ああ、関西人の常識なんや」

「ええー、ホント？」

彼の言うことが信じれなくて、首を傾げてみる。

「ホンマやって。大阪のおばちゃんは、みんなアメちゃん持つとんで」

「ぷっ、あんたおばちゃんじゃないじゃん」

「ああ、そうやったわ」

しもうた、なんて言いながら、オデコを抑える。

「まあ、アレや。関西人の嗜^{たしな}みちゅうもんやな」

「変なのー」

大して面白いことでは無かったが、もう笑いが止まらない。

「笑ったらあかんよ。アメちゃんは、世界を救うんやで」

「ウソだあ」

「ホンマやって。自分、アメちゃん貰ってちよい幸せにならんかった?」

しばらく考えてみる。

「・・・なった」

「やろ?この小さい幸せが、世界を救うんや」

「スゴいね!! 私も今度からアメちゃんって言おっと」

「そうしんさい」

「お前ら・・・」

何処からともなく、青筋を立てている先生がやってきた。

実は、掃除の真っ只中だったりする。

「おお、先生やんか」

「お前ら・・・」

「せっかく、幸せになったのに・・・」

「お前ら、今は掃除中だぞ」

「いいじゃんかー」

「そやで。他にやっとなる奴おるしな」

「ねー」

彼と一緒にうだうだ言っていると、一瞬、

ほんの一瞬だけ、辺りの空気が冷たくなった。

「・・・そうかそうか」

「ヤバいで！完全にキレてもうた！！」

「に、逃げなきゃっ！」

「待てお前ら！！」

待てと言われて、待つ人なんて何処にもいるはずがない。

私たちはひたすら逃げ、先生に追いかけられる。

先生にアメをあげたら、私たちは助かるのかな？

(後書き)

全ては作者の関西人の方のイメージですので、悪しからず・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2436e/>

アメちゃん世界を救う

2011年1月16日09時52分発行